

平成 30 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：平成 31 年 2 月 7 日（木）14：00～16：45

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：4 名 島袋幸代（県立中部病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、
大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、山田綾美（琉球大学医学部附属病院）

Skype 参加：2 名 金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）

陪席者(skype)：1 名 朝川恵利（県立宮古病院）

欠席者：4 名 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、
阿波連愛香（沖縄県がん患者連合会）、喜屋武隆也（沖縄県健康長寿課）

【報告事項】

1. 平成 30 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 30 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会（10～12 月）

資料 2-1～2-3 に基づき、平成 30 年 10～12 月に各拠点病院にて開催された沖縄県がん患者ゆんたく会について報告があった。各病院ともに、講義を設けたプログラムの時には参加者が増える傾向にある。県立中部病院では、新しいテーマとして臨床心理士を講師にコラボージュ製作を取り入れたところ、参加者から大変講評だったと報告があった。

3. がん相談件数（10～12 月）

資料 3-1～3-7 に基づき、平成 30 年 10～12 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。

県立中部病院では院内からの誘導が増え、自院患者の対面相談件数が伸びている。院内周知のツールとして、がん相談支援センターのチラシ（A4 版サイズ）を作成して各診察室に設置し、初診時に医師から患者さんへ配布する体制を整えたと報告があった。

県立宮古病院では、がん専従相談員が緩和ケアセンター看護師および認定看護師の役割も兼ねており件数集計に難渋する場面があることが報告された。

県立八重山病院では、初診時 IC への同席が定着してきている。これまでも渡航費助成に関する情報提供は重点的に行ってきたが、さらに離島の八重山病院へ紹介する医療機関に対しても情報提供を行っていることが報告された。

琉大病院では院内からの介入依頼が多く、院外からは1割程度である。患者さんの年齢層が若くなってきており、妊孕性やAYA世代へ対応もしっかりやっていきたいとの報告があった。

北部地区医師会病院では、前回部会で確認した相談件数のカウント法を院内で再度見直し、少しずつ件数も増えてきていると報告があった。

4. がん相談件数集計（4～12月）

資料4に基づき、山田委員より平成30年4月～12月の沖縄県がん相談件数集計について報告があった。がんの部位において、大腸がんが最も多く沖縄県の特徴がでており、次いで肺がん、肝・胆がん、乳房、胃と続いており五大がんが多い傾向がみられ、これらの情報提供や対応についてしっかり揃えておく必要があるとの意見もあった。就労支援について部会で相談件数をカウントし始めた当初は全体の1割程度であったが増加してきている。年度ごとの時系列で確認していくこととなった。

5. がん相談支援センターの広報（チラシ、新聞）

資料5-1に基づき、大久保委員よりがん相談支援センターの広報（チラシ作成）について報告があった。文言の訂正と電話番号を更新し、A4両面版チラシは県内医療機関へ配布し、A0のポスターについてはこれから配布予定とのことだった。

資料5-2に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報（新聞）について報告があった。新聞の無料掲載内容について新聞社へ依頼しており、引き続き広報活動を行うこととなった。

6. 都道府県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会

資料6に基づき、大久保委員より都道府県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会について報告があった。がん相談支援センターの対応状況事前アンケート結果の概要、妊孕性に関するネットワーク作りの好事例、部会としての今後の取り組みについてディスカッションが行われたと報告があった。また、相談件数のカウント項目の見直しがあり変更案が出され、来年度4月より運用される予定とのことだった。

PDCAのチェックリストについて国の部会のワーキンググループとしてプロセス評価を見直し、チェック項目の作成が行われると報告があった。がん専門相談員の基礎研修(3)について、2020年東京オリンピックの開催の影響で開催日程が少なくなるため、2019年に計画的に受講できるよう周知があった。

7. 地域相談支援フォーラム IN 宮崎

資料7に基づき、金城委員より地域相談支援フォーラム IN 宮崎について報告があった。他県の取り組みで紹介されていた相談支援のマニュアルの作成について、沖縄県

でもそれぞれが持っている情報を取りまとめ、製作出来ればよいとの意見もあった。来年度の部会計画で検討することとなった。

8. がん相談員実務者研修会

資料 8 に基づき、大久保委員よりがん相談員実務者研修会について報告があった。アンケートの中で開始時間を早め午前中で終わる時間帯がよいという意見があったこと、参加者の満足度が非常に高い結果だったことが報告された。反省点として、グループワークの時間が短い中でのディスカッションをする検討事項範囲が広がったのではないかと挙げられた。その他、ウィッグを実際に着用することで患者さんの気持ちの変化などを体感することができ良かったとの意見があった。

9. がんサロンネットワーク会

資料 9 に基づき、山田委員よりがんサロンネットワーク会について報告があった。今回は 3 月 17 日に AYA 世代をテーマに開催することが決定し、これから広報を行うとのことだった。前年度までは患者会や世話人を対象としていたが、AYA 世代という広いテーマであり、県内教育機関の養護教諭も対象とすることになった。

10. その他

島袋委員より、がん診療連携協議会で取り上げられていた内容について報告があった。特にセカンドオピニオンについては、がん相談支援センターで予約の調整まで行ってほしいという意見が挙げられていたとのことだった。

そのほか、2 月 23 日にうるま市のメインシティにてがんイベントを中部病院主催で開催するとの広報があった。

【協議事項】

1. 平成 30 年度現況調査報告

各拠点病院での平成 30 年度現況調査報告内容を用い各がん相談支援センターの現状について協議が行われた。

■提供可能な患者会の数

→がんサポ掲載の患者会数、実質的に連携している患者会数のどちらかでの回答。

■相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)~(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わるものをそれぞれ 1 人ずつ配置している。(必須項目)

→県立宮古病院のみ「いいえ」

基礎研修(1)~(3)の修了者数 (合計：専任：専従)

① 琉大病院 (2 名：2 名：1 名)

- ② 那覇市立病院（2名：2名：1名）
- ③ 県立中部病院（5名：2名：1名）兼任が3名。それぞれ配置部署が異なる。
- ④ 北部地区医師会病院（1名：1名：1名）もう1名修了者いるが、休職中。
- ⑤ 県立宮古病院（1名：1名：1名）
- ⑥ 県立八重山病院（3名：2名：1名）兼任1名。

※他部署の修了者について地域連携室とがん相談支援センターが組織上同じ部門である場合やがん相談に対応している場合は報告に入れている。

■就労に関する連携協力体制について

（ハローワークによる出張相談回数：産業保険相談支援センター両立促進員による出張相談回数）

- ① 琉大病院（定期的かつ月1回以上：定期的かつ月1回以上）
- ② 那覇市立病院（なし：定期的かつ1回以上）
- ③ 県立中部病院（なし：随時対応）
- ④ 北部地区医師会病院（なし：随時対応）
- ⑤ 県立宮古病院（なし：随時対応）
- ⑥ 県立八重山病院（なし：随時対応）

■外来初診時等に主治医等から、がん患者及びその家族に対し、相談支援センターについて説明する等、診断初期の段階から相談支援センターの周知が図られる体制を整備について

→県立中部病院では、がん相談支援センターのリーフレットを作成し各外来の診療室に配置し主治医から渡してもらい体制を整備した。手に取ってすぐ「がん」という文言は見えないように折り曲げて配布している。

→県立八重山病院では、IC 同席し、がん相談支援センターの案内も掲載されている院内専門職種のリーフレットを配布し、カルテへ記録している。

■相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制整備について

→就労支援利用者に対して行っているアンケートはあるが、全例に実施ではない。

2. PDCA チェックリスト

資料 10 に基づき、大久保委員より PDCA チェックリスト（2017 年度）について報告があたった。今年度は前年同様の PDCA チェックリストを使用し、メーリングにて集約を行うこととなった。次年度は、国がんからの新しいプロセス指標を用い行うこととなった。

3. 平成 31 年度部会計画

資料 11 に基づき、大久保委員より平成 31 年度部会計画案について提案があった。協議の結果、今年度作成した 5 つの施策に基づき次年度も取り組むことが承認された。具体的な行動計画は引き続き部会で協議し遂行することとなった。

【施策 1】 がんサポートハンドブック作成への参加、チラシの配布状況の確認等

【施策 2】 がん相談支援センター誘導の院内フローチャートの作成

【施策 3】 研修会の実施、がん相談支援センターの満足度調査票の作成、がん相談員マニュアルの作成

【施策 4】 患者サロンの未実施施設を中心にピアサポーターとの連携を推進する

【施策 5】 院内での産業保健関係者への誘導の方法など、具体的に検討

4. 相談件数項目の変更について

資料 12 に基づき、大久保委員より相談件数項目の変更について報告があった。都道府県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会にて相談者のカテゴリー、がんの部位、相談内容について追加・修正があり、沖縄県では 4 月 1 日からの相談集計は新項目で集計し報告することについて承認された。

5. その他

大久保委員より、次年度の部会委員について部署移動等で変更がある場合は早めに連絡するよう周知があった。

- (1) 次回、平成 31 年度第 1 回情報提供・相談支援部会開催日について
2019 年 5 月 16 日（木）14：00～を第一候補とすることとなった。